

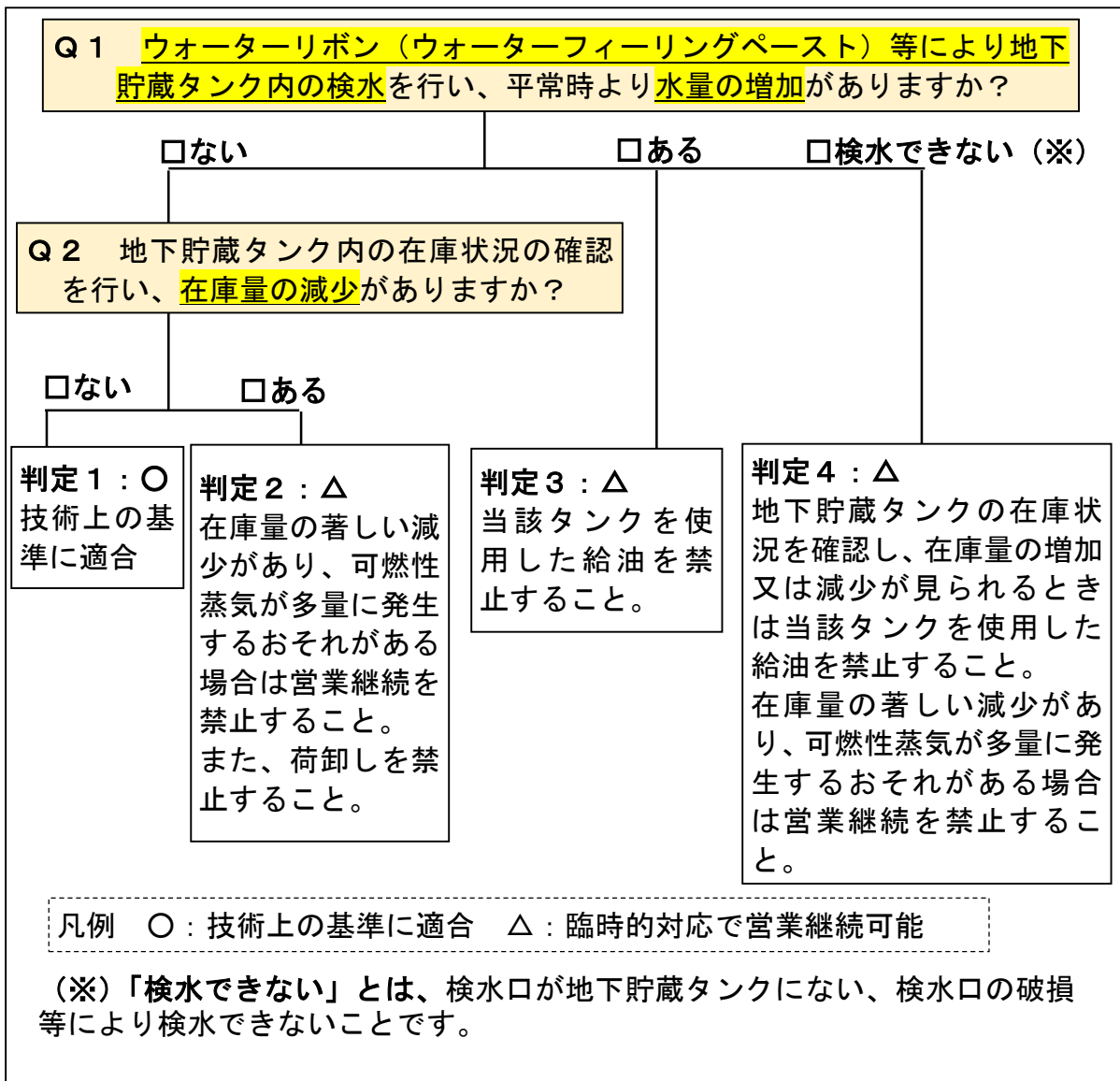
**点検項目 9
「地下貯蔵タンク」**

必要資機材：【点検用】記録用のカメラ又はカメラ機能付きスマートフォン、検水用資機材（ウォーターリボン（ウォーターフィーリングペースト）、検水棒又は検水ワイヤー）

1 点検方法

点検等に必要な資機材を用意し、以下の点検フローチャートに従って点検してください。該当する回答をチェックし、判定結果を確認してください。

2 点検フローチャート



3 点検等に係る解説

「ウォーターリボンによる検水」とは

タンク直上の液面計にある検水口等から、ウォーターリボン（ウォーターフィーリングペースト）を塗布した検水棒又は検水ワイヤーをタンク底部に達するまで挿入し、ペーストが水に反応して変色していないか確認します。

変色の幅が3～5 cmを超え、増加傾向であればタンク又は配管の異常によるタンク内への水の混入が疑われます。



ウォーターリボン（ウォーターフィーリングペースト）



検水棒等の先端にウォーターリボンを塗布



検水口に挿入



検水ワイヤー

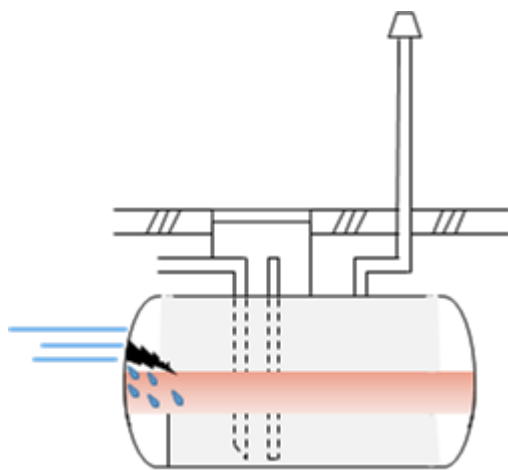


変色の幅を測定

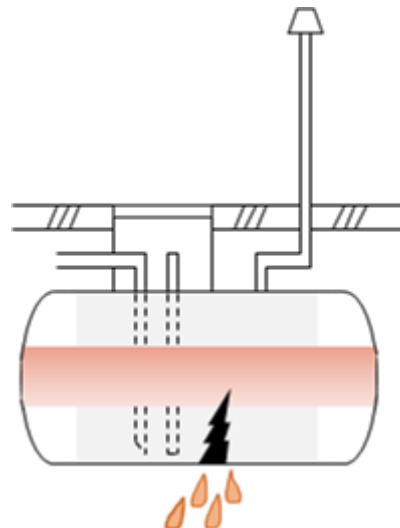
ウォーターリボンによる点検方法

【出典】東京都石油業協同組合・全国危険物安全協会

タンクが破損すると、以下の現象のため在庫量が増減する場合があります。



地下水の流入により水量が増加します



油が地中に漏えいし在庫量が減少します